



編集・発刊

中部方面混成団  
本部広報室

TEL077-523-0034

# 平成24年度 団競技会

## 小火器射撃・持続走で白熱



統裁官の古河混成団長



古河混成団長の号音で各選手が一斉にスタート

中部方面混成団(団長 古河克樹一佐)は、九月二十六日～二十七日、あいはば野演習場において平成二十四年度団競技会を行った。

団競技会は、小火器射撃と持続走の二種目で行われ、当初二十六日に、射撃競技会を計十七個射群の各部隊代表選手が第九習会(立姿から伏射ち)と第十習会(立姿からひざ射ち又はしゃがみ射ち)の計十発の射撃で競い合った。

翌日二十七日は、持続走競技会を各部隊代表選手が軽武装での個人走で、五コグループで競い合い、高低差約六十mのあいはば野演習場内5kmコースを中部方面混成団友の会の激励を受け、気力を振り絞り疾走した。

競技会は、白熱した戦いを繰り広げ、小火器射撃で第四十七普通科連隊が、持続走で第一〇教育大隊が見事優勝し、競技会の幕を閉じた。

### 成績

#### 団体の部

##### ◆小火器射撃

- 優勝 第四十七普通科連隊
- 準優勝 第一〇教育大隊

##### ◆持続走

- 優勝 第一〇教育大隊
- 準優勝 第一〇九教育大隊

##### ◆射撃個人表彰(上位六名)

- 一位 四十六点 一曹 清水 竜彦 (四十七普連)
- 二位 四十六点 二曹 野田 芳春 (四曹教)
- 三位 四十五点 二曹 下瀬 浩二 (四十七普連)
- 四位 四十五点 一曹 坂口 進 (一〇九教大)
- 五位 四十五点 二曹 白川 和憲 (四十七普連)
- 六位 四十四点 二曹 坂本 悟史 (四曹教)

※同点時は、競技会の規定により膝射ち(しゃがみ射ち)の上位者を優先

##### ◆持続走個人表彰(上位十名)

- 一位 十六分三十八秒 二曹 中村 太一 (四曹教)
- 二位 十六分五十二秒 二曹 片田 堅 (一〇九教大)
- 三位 十七分四十一秒 二曹 茂山 和生 (一〇九教大)
- 四位 十七分四十八秒 三曹 中塚 寿幸 (一〇九教大)
- 五位 十七分五十九秒 三曹 神石 元 (四曹教)
- 六位 十八分七秒 三曹 高本 昌和 (一一〇教大)
- 七位 十八分十四秒 三曹 尾崎 祐介 (一〇九教大)
- 八位 十八分二十一秒 二曹 田中 俊策 (四十七普連)
- 九位 十八分二十三秒 三曹 久保 良平 (一一〇教大)
- 十位 十八分四十五秒 三曹 中山 幸二 (一一〇教大)

##### ◆持続走敢闘賞

- 二十九歳以下 三曹 宮本 惇 (一一〇教大)
  - 三十歳～三十四歳 二曹 山根 良太 (四曹教)
  - 三十五歳～三十九歳 二曹 堀内 亮 (一一〇教大)
  - 四十歳～四十四歳 一尉 水田 有治 (四十七普連)
  - 四十五歳～四十九歳 曹長 清水 善徳 (四十七普連)
  - 五十歳以上 三佐 一ノ瀬 誠二 (一一〇教大)
- 女性の部 二曹 黒川 志乃 (一〇九教大)

# 団競技会Photo



緊張の面持ちで待機する射手



隷下部隊が開会式に参列



古河混成団長に宣誓を行う選手



整齐と競技が行われる



必中の信念で的を狙う



出走前の念入りな点検



秋晴れの中、約5kmのコースに挑む



選手達を激励する団友の会役員



気力を振り絞り高低差を克服



持続走優勝の第110教育大隊



小火器射撃優勝の第47普通科連隊



全力を出し切りゴール



皇太子殿下にと列を行う隊員

大津駐屯地(司令 古河克樹一佐)は、七月二十四日、第四十八回献血運動推進全国大会開催に伴い、滋賀県大津市を訪問された皇太子殿下を奉迎・送迎するため、中部方面混成団副団長 押川一佐をと列隊長として、駐屯地所在隊員約五十名でと列を行った。  
当日は気温も上昇し大変暑い中であつたが、間近で拝見する殿下のお姿に皆緊張した面持ちでと列を行った。

## 皇太子殿下 来大津に伴うと列

地元盆踊り保存会と江州音頭を踊る隊員達



## びわ湖大花火大会にあわせ 「駐屯地夏祭り」を開催

大津駐屯地は、八月八日、「駐屯地夏祭り」を開催した。

夏祭りは二部構成で行われ、一部は夕方十八時から盆踊り大会を地元の盆踊り保存会の協力を得て隊員と一体となり賑やかに行われた。

二部は十九時三十分から湖岸を含む駐屯地内各所にて、「びわ湖大花火大会」を観覧した。訪れた来場者はびわ湖の湖面を彩る鮮やかな花火の幻想的な風景に大きな歓声を上げていた。

その他、焼き肉やフランクフルト等の食べ物やヨーヨー釣り等の模擬売店も出店し大繁盛であった。

駐屯地には約三二〇〇名の周辺住民が訪れ、隊員との親睦を図り、夏の夜のひとときを大いに楽しんだ。



駐屯地内でびわ湖大花火を楽しむ

### 隊員投稿

「決意新たに」

第四陸曹教育隊最任上級曹長

准陸尉 門脇 和洋



## 中部方面混成団友の会 第四十七普通科連隊を激励慰問



激励慰問を受ける47普連隊員

八月三十一日～九月一日の間、中部方面混成団友の会（会長 田中清司氏）が、恒例の団隷下部隊への激励慰問行事を行った。

行事には、名誉会長以下九名が参加し、東広島市にある原村演習場で第一次連隊野営訓練中の第四十七普通科連隊（連隊長 有浦隆一佐）を訪問し、基幹隊員及び即応予備自衛官の精強澁刺とした射撃を見学するとともに、部隊概要の説明を受ける等、四十七普連の士気高揚のための激励慰問を行った。

平成二十四年八月一日付をもって、第三代第四陸曹教育隊最任上級曹長を拝命しました門脇准尉です。

中部方面隊唯一の陸曹教育隊の最任上級曹長として勤務するに当たり、その職責の重さに身の引き締まる思いであり、今後は、教育隊長の統率方針の下、「希望」を業務方針として職務に専念する所存であります。

現在、試行中であります「上級曹長制度」は、平成二十六年以降施行される予定であります。本制度が皆様から期待される、そしてその期待に応えることのできる制度となるよう、今自分にできることを着実に実行し、また、最任上級曹長としての存在価値を示せればと考えています。

微力ではありますが、決意を新たに、陸曹区隊長制度の先駆け教育隊である第四陸曹教育隊の一員としての誇りをもって職務に邁進いたします。



有浦連隊長の説明を受ける友の会役員

# 第四十七普通科連隊



## ◆駐屯地夏祭り行事で

### 盆踊り競技会に参加

第四十七普通科連隊(連隊長 有浦隆一佐)は、七月二十六日、平成二十四年度海田市駐屯地夏祭り行事に参加した。盆踊り競技会参加にあたり、第四十七連隊の盆踊りの曲は、東日本復興を願って作られた「エグザイルのライジングサン」で出場した。競技会に向けての練成は、踊りもハイレベルで隊員も高年齢に加え、招集訓練等があるため全員揃って行う機会が最後の総合練習の他なかったが、長である花井三尉の熱意ある指導のもと、子供を交えてのコラボレーションで厳しい状況の中、見事六コ部隊中「特別賞」に輝いた。



「ライジングサン」で見事特別賞を受賞

## ◆連隊小銃射撃競技会



胴上げをする第2中隊

連隊は、八月八日、平成二十四年度連隊小銃射撃競技会を原村射場で行った。この競技会は、団競技会「優勝」を目標とする前哨戦であり、各人が「全弾必中の信念」のもと、どの中隊が勝利してもおかしくない見応えのある戦いを繰り広げた。

結果は、次の通りである。

中隊対抗の部

優勝 第二中隊

準優勝 第三中隊

個人の部

第一位 本管中 藤原一曹 四十七点

第二位 三 中 末田曹長 四十五点

第三位 本管中 下瀬二曹 四十五点

※同点時は、競技会の規定により、ひざ射(しゃがみ射)の上位者を優先

# 第四陸曹教育隊



## ◆団訓練指導法を担任

第四陸曹教育隊(隊長 鈴木精治一佐)は七月十二日、大津駐屯地において平成二十四年度団訓練指導法を担任した。本指導法は今年度、中部方面混成団が中部方面隊の中級陸曹集合教育を担当するにあたり、陸曹教育のエキスパートである第四陸曹教育隊が、各教育大隊の教官・助教要員に対する戦闘訓練指導法を命ぜられたものである。

指導法当日は小雨降る中であったが、実施部隊長である普通科教育中隊長(横山邦彦三佐)による実施要領説明の後、各教育大隊の代表者が、大津駐屯地グラウンド一帯を使用し、課目「小銃分隊の攻撃」について、各大隊の日頃の教育技法により指導法を行い、次いで、普通科教



横山3佐による実施要領の説明



指導要領の要点の紹介及び一案の提示を行う

育中隊の陸曹区隊長・助教が、陸曹候補生課程や初級陸曹特技課程での教育を通じて、蓄積した戦闘訓練の指導要領の要点の紹介及び一案の提示を行い、中級陸曹教育担当者の教育指導能力の更なる向上に寄与した。

# 第一〇九教育大隊



## ◆第一期中級陸曹集合教育を担任

第一〇九教育大隊（大隊長 猪股倫夫 二佐）は、八月二十日から三十一日の間、第三二六共通教育中隊（中隊長 山内知己一尉）担任で、第一期中級陸曹集合教育を行った。

本教育には中部方面隊内（三師団、十師団、方面直轄部隊）から、二等陸曹一〇六名が参加した。訓練開始にあたり大隊長は「中級陸曹としてのリーダーシッ

プ及びフオロアーシッポの發揮」を要望した。教育内容は、小銃分隊の攻撃、戦術訓練指導法、訓練管理、情報管理、補給管理及びメンタルヘルス等であり、特にあいま野演習場において八月二十七日、二十八日の一夜二日にわたり行った総合訓練では、三十km徒歩行進に引き続き、敵情の偵察、命令下達、小銃分隊の攻撃を一連の状況下で行い、分隊長としての指揮手順のみならず日中三十三〇まで上る過酷な環境の下において不撓不屈の精神を育成することができた。

十二日間と短い教育であったが、全員が終始熱心かつ積極的に取り組む、中級陸曹としての資質を向上することができた。



戦闘行動前の命令下達



猛暑の中、小銃分隊の攻撃を行う中級陸曹

# 第一一〇教育大隊



## ◆自衛官候補生三十名入隊



自衛官候補生の入隊式を整齐と挙行

第一一〇教育大隊（大隊長 玉木章二 二佐）は、八月九日に普通寺駐屯地第一〇教育大隊第三教場において、兵庫県及び中国、四国地区から採用された自衛官候補生三十名に対し、入隊式を行った。

この際、大隊長より「初志貫徹」「切磋琢磨」「明るく・仲良く」が要望されるとともに、香川県隊友会会長及び中部方面混成団長から祝辞を戴き、自衛官候補生はこれから始まる自衛隊生活の期待に胸を躍らせていた。

また、第十四旅団音楽隊の支援を受けて行った祝賀会食では、家族とともに食事を楽しみ、終始和やかな雰囲気での士気を高揚させた。

十月二十九日までの間、自衛官候補生三十名は厳しい教育訓練に臨んでいくこととなるが、同期の絆を大切に積極的に頑張っていく姿が期待される。

## ◆第一期中級陸曹集合教育

第一一〇教育大隊は、八月二十日から三十一日までの間、普通寺駐屯地及び国分台演習場において、中部方面隊に所在する中級陸曹九十九名に対し、第一期中級陸曹集合教育を行った。

今集合教育は、第三一七共通教育中隊（中隊長 牟田雄一一尉）が担任し、中級陸曹として必要な知識及び技能を修得させた。この間、教育参加者は、小銃分隊の攻撃、戦術訓練指導法及び総合訓練（行進訓練に引き続き小銃分隊の攻撃）等に積極的に取り組む、各人の知識及び技能の向上に努めた。また、中部方面混成団長の訓示及び視察により、教育参加者の士気をさらに向上させることができた。

十二日間にわたる集合教育を終え、大隊は九十九名の中級陸曹が自信と誇りを持って部隊で勤務できることを確信した。



命令下達する中級陸曹

# 隊員・家族投稿

「転属をして」

第四十七普通科連隊 本部管理中隊  
柿本二曹夫人 柿本美智子

六月の終わり頃、主人から「転属の話があったよ。」と言われ、初めての事で不安で一杯になりました。五才と二才の子供達は、どこかに旅行に行くぐらいにしか思っていなかったかも知れませんが、当日、私は涙でお別れを。主人も同じ小隊の方や仲良くして下さった方達に見送ってもらい、新天地へ向かいました。着いて早々に主人は新しい部隊へ挨拶に行きました。私自身主人がどの様な所で働くのか心配もしていましたが、皆さんが、良い方だと聞き一安心しました。勤務態勢が前と異なるので私も子供も戸惑いもありますが、まず、お父さんに良い環境で働いてもらえる様に色々な面で支えになっていきたいと思っています。そして、広島での新しい生活で家族の新しい思い出を沢山作って行こうと、今では楽しみで一杯です。



左 長男理矩(りく)君 右 次男 權(かい)君

「単身赴任を終えて」

第四十七普通科連隊 本部管理中隊  
小西一曹夫人 小西直美



小西1曹家族で

主人は、少年工学校(武山)で、一年半の単身勤務を終えて、今年八月に広島に帰って来ました。向こうでは、色々一人で大変な事も沢山あったと思いますが、元気に帰って来てくれて良かったです。

この一年半の主人がいない間、嬉しかった事、悲しかった事がありました。次男・安明に、色々なことがあり高校を中退してしまいました。大変ショックではありますが、今ではお好み焼きのバイトをして頑張っています。色々な事を勉強して、これから夢に向かって進んで行って欲しいと願っています。そして、一番嬉しかった事は、長男・雅俊が、昨年、結婚して、可愛い孫が生まれた事です。新しい家族が出来て主人も私も新たな生き甲斐が出来ました。これから、孫の成長が何よりも楽しみです。主人がいない間、大変な事も沢山ありましたが、何より健康で帰って来てくれて安心してました。これからの沢山の壁にぶつかると思いますが、家族皆で協力して頑張っていきたいと思えます。本当に、いつもありがとうございます。

「成長」

第二一〇教育大隊本部 三等陸曹 津田 敬

私は現在、第二一〇教育大隊本部で文書陸曹としております。平成二十二年の三月に習志野から赴任して以来、日々の業務や訓練で充実した毎日を送っております。

私生活においては、一昨年結婚し今年の五月に待望の長女が産まれました。寝る。泣く。飲むしか出来なかった娘が笑ったり怒ったり出来るようになり、ついに寝返りが出来るようになりました。最近では家でゴロゴロしています。

娘の著しい成長に影響され、このままでは追い抜かれてしまおうと思ひ、現在一般幹部候補生の二次試験に向け、頑張っております。業務、家庭及び練成の両立は大変ですが、苦しい時ほど人間は成長



津田3曹と長女的美咲(みさき)ちゃん

できると思っています。より立派な陸上自衛官を目指すと同時に、親としてより立派な人間を目指して、これからの頑張りが行きます。そして、自分の成長がやがて国のため、家庭のため、自分のためになることを夢見て、任務達成に向け邁進します。

「自衛官の妻として」

第二一〇九教育大隊第三二四共通教育中隊  
片田二曹夫人 片田 祐子



私達の宝 上 長男 晴(はる)君  
下 長女 真央(まお)ちゃん

私は自衛官の妻であり、私自身も予備自衛官として訓練を受けています。大学卒業後は就職、予備自衛官補招集訓練、結婚、出産等があり、ようやく去年初めて予備自衛官招集訓練に参加する事ができました。

予備自衛官招集訓練では、今まで関わりが無かった自衛官について身をもって知る事ができ、また、同じ訓練を共にした仲間とは強い絆・信頼関係が築けました。改めて自分の役割を再認識し、以前に増して意識の向上を図れる貴重な場であると強く思いました。

そして今、自衛官の妻として、自衛隊と接していただける事を嬉しく感じています。これからは予備自衛官として、妻として自衛官である主人をサポートしていきたいです。